

私たちの故郷 うつく <sup>椎葉</sup>しいば <sup>しよ</sup>

椎葉村立椎葉中学校 3年 椎葉 智記

椎葉村は、素敵な場所です。自然豊かで、日常生活のほとんどを自然とともに過ごすことができます。そして、村民の方々は心優しく、ユーモアあふれる方たちでいっぱいです。さらに椎葉村の魅力を挙げていくと、椎葉村で採れた野菜やしいたけ、椎葉牛はどれも絶品ですし、長年引き継がれてきた神楽や焼き畑などの伝統もあります。特に焼き畑農業は、自然と農林業の調和が図られた農法として、現在も維持されていることが、世界的に重要と評価され、世界農業遺産に認定されました。このように少し考えただけでも椎葉村の魅力はあふれてきます。

しかし、良いところだけではありません。少子高齢化や人口減少、空き家の増加や交通網の整備など、様々な課題を抱えています。私たちの故郷である椎葉村には、いつまでも元気な村であってほしいと考え、中学校の総合的な学習の時間「椎葉村学」では、課題を「椎葉村の人口減少防止対策」とし、私たちなりに解決策を考えてきました。その紹介をします。

私たちは、産業班、観光班、文化班、空き家班の4つの班に分かれ、人口減少防止について考えました。産業班では、ポスターを作成・配付し、村民のお手伝いをし、産業体験をする取り組み、観光班では、2泊3日の体験ツアーや、椎葉村のきれいな水・景色を活用した取り組み、文化班では、神楽の保存のためにクラウドファンディングを募り、資金作りや返礼品の考案などの取り組み、空き家班では、今ある空き家の数やその持ち主を調べ、空き家を把握する取り組み、などをそれぞれ考えて提案しました。

このように私たちは、地域の方々の力を借りながら、椎葉村のために中学生だからできることを考えてきました。そして、その中で気づいたことがありました。それは思っていたよりもいろいろな対策が取られていることが多かったことです。椎葉村学で椎葉村のことを調べるまでは、椎葉村のことに興味をもって見聞きしていなかったため、何も取り組みをしていないと思っていました。今回の椎葉村学の学習で、季節ごとに合わせたツアーや、菜豆腐づくりなどの体験ツアー、フォトコンテストやラジオ放送によるPRなど、想像していた何倍もの取り組みを椎葉村は行っていると知りました。

そのことを知り、新たな気持ちで椎葉村のことについて考えることができました。そして、この新たな発見からまた新たな疑問が出てきました。それは、これだけの取り組みを行っているのに、なぜ観光客や人口は、そこまで増えていないのかということです。体験ツアーやラジオ放送で、椎葉の良さを伝えきれていないのではと思いましたが、そんな事はなく、椎葉村の魅力がたっぷりと伝わってくる内容でした。

それでは、なぜ観光客は増えないのか。この疑問については、自分の考えですが、椎葉村の良さをまだまだ村外の方へ、魅力的な発信ができてないからだと思いました。私も椎葉村に住んでいて、ほかの地域の魅力を聞くことはたくさんあります。しかし、その地域について「良いな」とか「面白そうだな」と思うことはありますが、「行ってみたいな」「住んでみたいな」と思うことはほとんどありません。

だからこそ椎葉村の魅力をもっともっと調べ、情報発信していきたいと思います。

魅力いっぱいの椎葉村に、たくさんの人に来ていただき、椎葉村を満喫してもらう日を夢見て！